



十勝川温泉旅館協同組合

## と ちがわおんせん 十勝川温泉



- 「十勝川温泉」は、十勝平野の中央に位置する音更町の十勝川の河畔に湧くエリアに形成された温泉地。
- 遙か太古の時代より、葦等の自生植物が長い時間をかけて堆積した亜炭層から湧出する温泉。植物性（モール）の有機物を多く含み、肌への刺激が少なく、一般の温泉に比べて天然保湿成分を多く含む。

### 【商品と商標の権利者】

#### ①指定商品又は指定役務

- 北海道河東郡音更町十勝川温泉地区における温泉浴場施設を有する宿泊施設の提供
- 北海道河東郡音更町十勝川温泉地区における温泉浴場施設の提供

#### ②権利者

十勝川温泉旅館協同組合  
(住 所) 〒080-0262  
北海道河東郡音更町十勝川温泉北11-2  
(T E L) 0156-46-2447  
(ウェブサイト) なし

## 1. きっかけ

### ～商標登録で先祖の遺産を守り抜く～

- ☆有機物を含む独特の泉質「モール温泉」を誇りにして他地域との差別化を図る活動を進めています。
- ☆十勝川温泉地区の事業者等が開催している「白鳥まつり」に便乗して、他地域の温泉を「十勝川温泉」と表現する旅行企画がみられ始めました。
- ☆地域団体商標制度の創設を受けて、「先祖の遺産を守る」という気概を持ち、当地域で主催するイベントへの他地域の事業者の便乗の阻止等を目的として、平成19年5月に商標登録出願を行い、平成20年11月に登録されました。

## 2. ブランド管理

### ～限りある温泉“資源”を意識～



「十勝川温泉」の風景

☆商標「十勝川温泉」は、商標権者の組合以外の十勝川温泉観光協会の加盟事業者も使用できることとしています。

☆品質管理については、“資源には限りがある”という意識から、平成5年に集中管理の井戸3本により、温泉を地区内の事業者に供給する仕組みにしています。

### ～「商標登録」と「北海道遺産選定」で相乗効果狙う～

- ☆“モール温泉発祥の地”として「十勝川温泉」の認知度を高めるため、リーフレットを作成し、地域一丸となってイベント開催にも取り組んでいます。
- ☆北海道遺産に選定されたことを活かし、PR活動に努めています。



北海道遺産選定を紹介する十勝川温泉のリーフレット

### ～まずは「ブランド保護」、広く活用～

- ☆登録されて間もないことから、監視等に関する具体的な対策は今後の検討課題とされています。
- ☆「十勝川温泉」と誤認されるようなPRやイベントへの便乗を行う他地域の温泉事業者に対しては目を光らせていく方向にあります。



「十勝川温泉」の一大イベント「白鳥まつり」

